

2020年08月07日 16面

文字サイズ 小 中 大 ブックマーク  印刷 

日本道路／四国支店新築（高松市）に着工／四国産木材など採用、21年4月末完成



日本道路は、四国支店新築に着工した。旧支店の老朽化により現在地（高松市郷東町）で建て替える。2021年4月末の完成を予定している。

新支店＝完成イメージ＝の規模はRC造3階建て延べ823平方メートル。他支店の建て替え経験をフィードバックするとともに、四国産の木材や自然素材を採用し、四国の独自性を出した計画としている。

日本道路四国支店の完成イメージ

BCP（事業継続計画）拠点としての機能を確保するため、事務室や会議室などを2階以上に配置するほか、1階にマンホールトイレを設置する。設計・施工は清水建設が担当する。

5日には現地で地鎮祭が行われ、堀吉伸支店長らが玉串をささげて無事完成を祈願した。

記事ID：3202008071609

---

Copyright(C) 日刊建設工業新聞 記事の無断転用を禁じます